

おおたけ

OTAKE CITY

市議会だより

2015
(平成27年)

2

No.180



～議会報告会を開催します～

平成27年2月、市内各地で議会報告会を開催します。
議員が地域にお伺いして、議会活動を直接報告し、市民
のみなさまとの意見交換を行います。
多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。
日時等の詳細については、15ページに掲載しています。

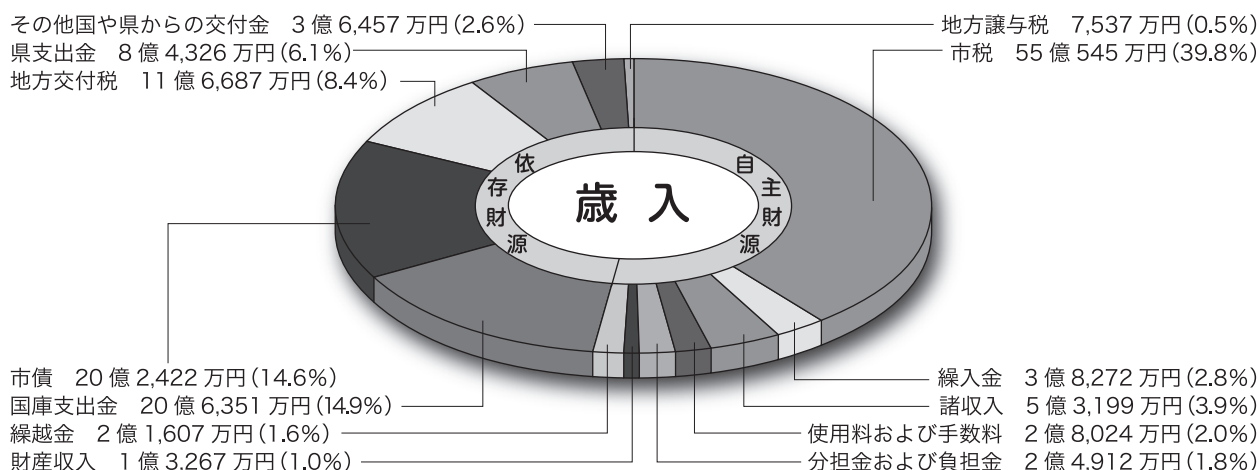
◆決算特別委員会	2ページ
◆第6回定例会	7ページ
◆一般質問	10ページ
◆先進地事例調査研究報告	14ページ
◆スマイルインタビュー・あとがき	16ページ

◆議会日誌	6ページ
◆審議結果表	9ページ
◆陳情 / 請願	13ページ
◆議会報告会のご案内	15ページ

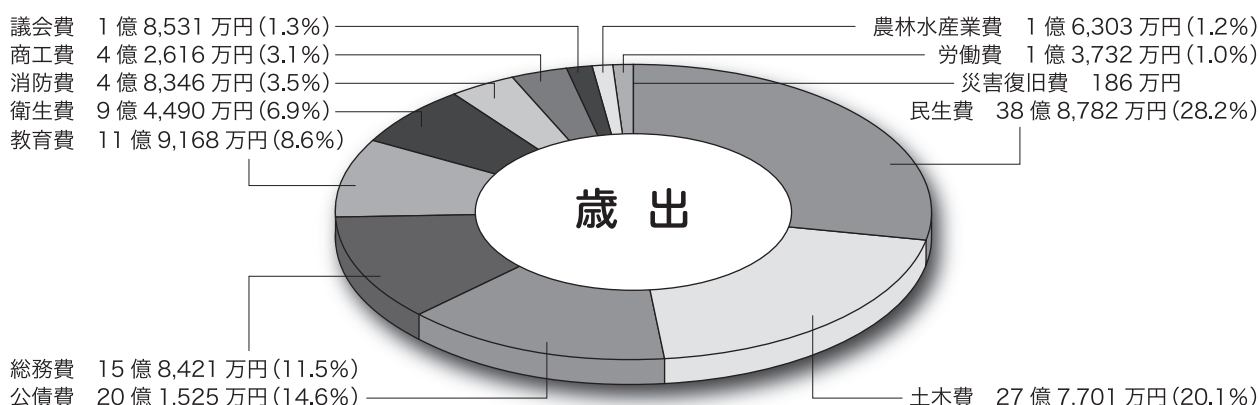
決算特別委員会

9月定例会において提案された、平成25年度各会計決算は、4日間(10月7日～10月10日)にわたり決算特別委員会において審査され、12月18日本会議で、いずれも認定されました。

一般会計 歳入総額 138億3,606万円



一般会計 歳出総額 137億9,801万円



依然
厳しい環境

更なる財政健全化を

◆財政用語の解説◆

【地方交付税】市の財政力に依じて国から交付されたお金
 【国庫・県支出金】特定の目的のために国・県から交付されたお金
 【市債】大きな事業を行うために、国などから借り入れたお金
 【地方譲与税】国が徴収した税金の一部を一定割合で譲与されたお金

平成25年度に一般会計に入ってきたお金(歳入)と、そこから使ったお金(歳出)の差し引きは、3,805万円になりました。
 そこから平成26年度に繰り越した財源(平成25年度に実施予定事業の一部を平成26年度に行うことにしたため)2,405万円を差し引いた1,400万円が平成25年度に実際に残ったお金です。
 このうち、700万円を財政調整基金(※)に積み立てました。
 ※年度間の財源の不均衡を調整するための貯蓄

平成 25 年度会計別決算額

		歳 入	歳 出
一 般 会 計		138 億 3,606 万円	137 億 9,801 万円
特 別 会 計	国民健康保険	37 億 298 万円	37 億 18 万円
	漁業集落排水	2,916 万円	2,916 万円
	農業集落排水	4,111 万円	4,111 万円
	港湾及び漁港施設管理受託	8,042 万円	5,636 万円
	土地造成	7 億 6,110 万円	12 億 5,970 万円
	介護保険	23 億 1,326 万円	22 億 5,630 万円
	後期高齢者医療	3 億 9,545 万円	3 億 9,306 万円
	合計	73 億 2,349 万円	77 億 3,587 万円
合 計		211 億 5,955 万円	215 億 3,388 万円

質疑内容

一般会計

Q 市制施行60周年市民提案事業は、市民からさまざまな提案を受けて行われた。取り組みされた事業に対し、今後何を求め、期待しているのか問う。

A 事業を通じて多くの方が関わったことで、職員も含め、人とながつながったということが大きいと思っている。このことにより、今後も自主的に活動が広がっていくことを期待している。



Q 平成26年度に新しく広島西医療センターに病児・病後児保育施設が開設された。当初、利用しやすくなるよう要望が出されたと思うが、どのように改善されたのか。併せて利用状況を問う。

A 従前は利用者を大竹市内の方に限定していたが、市内に勤めている方も利用できるように改善した。また、利用料金を一日2千円であったものを市内の方は1千円、市外の方は2千円とした。

利用状況については、4月から9月で116日開設し、その間126人が利用している。1日1人は利用している状況である。

Q 昨年10月からごみ処理の有料化に踏み切っているが、それ以降のごみの減量化、市民の意識の変化や協力団体などの状況を問う。

A 燃やすごみの処理量は導入前後1年間で12.6%の削減がされている。資源回収については、平成24年度は70団体の参加であったものが、平成25年度は80団体の参加にふえている。市制施行60周年記念事業の市民提

案事業で、「えこらいふ大竹」が段ボールコンポストの取り組みを行い、たくさんの方が参加があった。市民は関心を持っていると認識している。

Q 養殖漁業技術開発支援事業で、ハマチ等の養殖魚のブランド化を図る事業の現在の取り組みと今後の展開を問う。



A 平成25年度は、阿多田島漁協が高知大学と研究委託契約を結び、レモンハマチの開発に取り組んだ。柑橘系の飼料を与えることによって、酸化作用が抑えられるといった効果も見られている。

平成26年度も高知大学に研究開発をお願いし、同時に阿多田島海域において1,000匹のハマチに開発した餌を与え、養殖している。

来年度は、大量生産して各方面へPRとして配り、販路をつくっていきたいと考えている。

Q 大竹市内の事業者や商店街について、今後どうやって盛り立てていくか、どう再建していくか対策を問う。



おおたけもぶりフェス

A 大竹駅前土曜夜市や、本年度行われた大竹もぶり市、また住民団体が60周年記念事業として取り組んでおられたOh!バンブー倶楽部の喫茶店での演奏会など、色々な方と手を携えながら賑わいを呼び込むために取り組んでいる。

この賑わいが継続され、商店街の活性化に繋がるよう、商工会議所や地域産業振興センター等とも連携しながら支援をし、振興策を考えていきたい。

Q 旧阿多田小学校の解体工事はどの程度まで進捗しているのか。また、阿多田島の周回道路はいづころ復旧するのか問う。

A 旧阿多田小学校のがれきは、現時点で50%ほど処分している。8月6日の雨で、がれきの搬出をしていた周回道路が通れる状況ではない。災害復旧の国の査定が11月に予定をされており、その後復旧工事にかかるが、今年度中の復旧は難しいと考えている。

Q 広島市の土砂災害では、防災訓練を日常的にしていた組織は的確な対応をとれたという報道がある。今後の考えを問う。

A すべての自主防災組織が防災訓練を毎年しているわけではない状況である。訓練の方法等で相談があった場合、避難訓練、消火訓練、AEDの使い方の説明や救急救命講習など、住民が取り組みやすい訓練と一緒に考えている。これからも粘り強く、お互い取り組みやすい、参加しやすい防災訓練を考えていきたい。

Q 玖波小学校の建て替えは、土砂災害警戒区域の中に新校舎を建設する方向で進めていくようであるが、子どもたちの安心・安全が第一であるべきだと思う。このことについてどのように考えているか。

A 地元に対しては、小学校の崖面については土砂災害対策がとられていることや校舎を崖から20メートル程度離して建設すること、さらに擁壁を手前につくるといった安全対策について説明し、了解をいただいたところである。

二重三重の対策を行うことで、十分安全が確保できると判断しており、教育委員会としては、子どもたちの動線や見晴らし、グラウンドの面積の確保といった子どもの教育環境を考えた場合、今考えている案が最も適していると考えている。



玖波小学校

Q 確実な歳入の要素である固定資産税の今後の動向をどう見込んでいるか。

A 土地については、下落傾向を考慮すると下がっていく。家屋については、平成25年、新築ラッシュがあったが、家屋は2分の1の軽減措置があるため、平成28年ころから若干増加するのではないかと見込んでいる。償却資産については、平成28年頃に大手企業で設備更新があるという情報もあり、平成29年には一時的に増加するように見込んでいる。

Q 今現在小方ヶ丘の入居者数と、そのうち市外からの転入者数がどれくらいあるのか。また、小方ヶ丘の宅地造成により、税収等でどの程度影響があったか問う。

A 平成26年10月1日現在で、団地への入居者は145世帯、501人であり、そのうち市外からの転入者は67世帯、224人という状況である。また、税収面での影響は、土地・家屋を合わせて、大体1,400万円前後の増を見込んでいる。

討 論（一般会計）

【反対討論】

○「ごみ処理手数料が導入されたが、まだまだ住民との対話が不足している。また、開発事業に伴う莫大な市民負担を反省していない」

○「財政状況が悪い中、大型野球グラウンドを整備する一方、市民生活に影響する道路整備や雨水排水整備などが先送りされている」

【賛成討論】

○「厳しい財政状況の中で、教育、学校施設整備、子育て支援に重点的に取り組んでいる。限られた税財源ではあるが、市債償還を粛々とおこなっている」

特 別 会 計

大竹市国民健康保険特別会計

大竹市介護保険特別会計

大竹市後期高齢者医療特別会計

Q 健康づくり事業、ヘルスアップ事業、通所型介護予防事業について、計画として何を求め、結果としてはどのような実績・効果があったのかを問う。

A 皆さんに、「いつまでも健康で、元気でいていただきたい」という目的をもって予防事業に取り組んでいるが、予防事業というものは、個人にとつて、その成果が直には実感できないという難しさがある。

国における全国的な統計的分析などによる「健康診査を受診することが健康寿命の延伸につながる」というような知見をたよりに、受診率の向上に取り組むというような、具体的な目標管理をもって事業を進めざるをえない。



大竹市漁業集落排水特別会計
大竹市農業集落排水特別会計

Q 両会計とも経営的に赤字続きであるが、農集について言えば、高齢化と人口減少により利用が年々減っていくことから、赤字として積み上がっていくのではないかと思う。このことについてどのように考えているのか。

A 両会計とも、一般会計からの繰入金に相当入っている。いずれは、使用料改定ということも考えなければならぬと思っている。漁集、農集だけを単独で引き上げるのは、一部の住民に負担を求めることになるため、公共下水道の使用料改定に合わせて引き上げを考えている。

大竹市土地造成特別会計

Q 償還スキームでは、基金条例支援分として大竹工業団地及び小方ヶ丘の固定資産税の約4分の1を一般会計から繰り出している。将来的に小方小・中学校跡地が売却でき、建物等が建った場合、大願寺地区土地造成事業支援基金の対象にする考えはあるか問う。

A 基本的には対象に入れ、借入金をできるだけ早く償還するための財源としていきたい。

大竹市港湾及び漁港施設管理受託特別会計

討 論（特別会計）

【反対討論】

○「国民健康保険特別会計は、基金を国保加入者の負担軽減に活用してもらいたい。土地造成特別会計は、いまだに年間9億円に近い負担を市民にさせている」

【賛成討論】

○「健康寿命を延ばすことと医療費の削減、抑制に努めている。土地造成特別会計では、償還スキームを着実にクリアする決意を評価する」

特別委員会で採決の結果

全特別会計とも認定

← 本会議へ

本会議での討論

【反対討論】

○「ごみ処理手数料導入にいたる手法がよくない。本市の財政困難の原因は大願寺開発とその処分方法にある。開発事業中心の政治の在り方を改めるべき」

○「将来、学校跡地の利活用においての固定資産税の4分の1を大願寺開発の償還財源にするという新たな市民負担が明らかになった」

○「人口減を緩やかにするため定住促進策がなされていない。廃校地域の振興策が未だ示されていない」

【賛成討論】

○「ほぼ予算どおりの執行がされている」

○「小方ヶ丘には12月1日現在、150世帯が居住し44%が市外からの転入者である。新たな償還スキームが示され、職員一丸となった取り組みを評価する」

○「厳しい財政運営の中で市民生活向上に向けての事業をしてきている。限られた人材・財源の中で効果を発揮できるよう組織変更をした」

本会議で採決の結果

全会計とも認定



議会日誌

- 11月 5日 総務文教委員会先進地事例調査
～7日 研究
10日 生活環境委員協議会
議会運営委員会
11日 生活環境委員政策研究会
17日 各派代表者会議
18日 生活環境委員会先進地事例調査
～20日 研究
21日 総務文教委員政策研究会
総務文教委員協議会
安心安全対策特別委員会
27日 議会運営委員会
生活環境委員協議会
広報広聴特別委員会
12月 4日 本会議
8日 総務文教委員会
9日 生活環境委員会
生活環境委員協議会
10日 岩国大竹道路対策特別委員会
まちづくり対策特別委員会

- 11日 安心安全対策特別委員会
議会運営委員会
議会改革調査会
12日 生活環境委員会
15日 生活環境委員政策研究会
18日 議会運営委員会
本会議
25日 広報広聴特別委員会
まちづくり対策特別委員会
安心安全対策特別委員会
総務文教委員政策研究会
1月 7日 広島県市議会議長会議員研修会(西部ブロック)(東広島市)
9日 生活環境委員政策研究会
13日 広報広聴特別委員会
15日 石油基地防災対策都市議会協議会
役員会(周南市)(～16日)
総務文教委員政策研究会
21日 広島県西部市議会議員研修会(廿日市市)
議会改革調査会

【視察来庁】

- 11月 4日 兵庫県加古川市議会視察来庁
(地域公共交通活性化の取り組みについて)
1月14日 佐賀県神埼市議会視察来庁
(市議会だよりの編集・発行について)

11月
～1月

総務文教委員会

主な審査内容

- 大竹市放課後児童健全育成事業の設備と運営に関する基準を定める条例の制定について
- 大竹市放課後児童クラブ条例の一部改正について

Q 放課後児童クラブの対象児童は、これまで小学校3年生までだったものが6年生までに拡充される。

支援が必要な児童の緊急度や順位の決め方について問う。

A 小学校1年生から3年生をすべて受け入れる方針は変わっていない。対象を6年生まで拡充することで高学年に待機児童が出てしまう。優先順位については、子ども・子育て支援事業計画策定会議において、様々な方の意見を聞き決定していきたい。

Q 現状では高学年の希望者全ての受け入れは難しいとのことである。6年生まで受け入れるのが基本だと思うが、何年後までに希望者を全員受け入れること

とが可能なのか問う。

A 今年度中に策定する子ども・子育て支援事業計画において、受け入れ体制に係る5年間の目標値を定めていくことになる。

- 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- 特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正について

解説 一般職の勤勉手当の引き上げに伴い、常勤の特別職、議員の期末手当の引き上げをするもの。

Q 今回の職員等の給与改正に伴う地方交付税措置はあるのか問う。

A 交付税等による国からの追加の財源措置はない。

Q 市長等特別職及び議員の期末手当の引き上げは見送るべきだと思うが見解を問う。

A 一般職及び特別職の給与は人事院勧告に準じる。議員において

は議員間で決定していただくものと考え。

●平成26年度大竹市一般会計補正予算(第4号)

解説 歳入歳出にそれぞれ2億7,981万円を増額するもの。歳出の主なものは

- ・再編交付金を財源とした基金積み立て234,883万円
- ・議員期末手当 108万円
- ・特別職・一般職の給料等 約5,228万円など

Q 公共施設災害復旧事業債は、大雨災害の復旧事業の財源と理解している。災害復旧状況について問う。

A 現在の災害復旧の状況は、予算ベースで概ね50%対応済みである。

Q 生活困窮者自立支援制度施行円滑化特別対策事業について説明を求める。

A 平成27年4月施行の生活困窮者自立支援法に基づき、自立相談支援事業等を実施する予定である。

●そのほかの議案5件

※採決の結果、賛成・反対の立場で討論がありました。がすべての議案が原案のとおり可決

本会議へ

【反対討論】

○「人事院勧告は公務員に対してであって議員や特別職に対してではない。3万人以下の都市でも大竹市の議員報酬は上位にある。市民に受け入れがたいものである」

○「会派や市民にも話を聞いて判断した。特別職は常勤であるので人事院勧告に従うべきで、議員は非常勤である。財源が市の負担であり議員は身を切るべきである」

【賛成討論】

○「議員個々の判断ではなく、地方創生を進めるためにその職責に見合った報酬を保証すべき。社会情勢に沿った、民間の給料の事情を考慮したものと考える」

○「市特別職報酬審議会に諮っていたとき、積極的に意見を求めるべきで議員の報酬・期末手当等総額を審議の遡上に上げていたきたい」

本会議での採決の結果

原案のとおり可決

生活環境委員会

主な審査内容

●大竹市地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準を定める条例の制定について

Q 大竹市地域包括支援センターには現在何人いるか、また、その体制で十分であるのかを問う。

A 今年度は8名体制である。主任介護支援専門員3名、社会福祉士3名、保健師1名、看護師1名となっている。平成24年は6名、25年度は7名、今年度1名増員して8名となっており、当面はこの体制でまかなっていききたい。



サントピア大竹 2階

●大竹市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について

Q 地域包括支援センターは4つの事業をしながら地域介護予防支援も行うということであるが、8人全員がケアプランを作成するのか問う。

A 8人全員がケアプランを作成するが、他の業務との兼ね合いの中で多少の振り分けは行っている。

Q 一人のケアマネージャーに過重な負担とならないような指導は、市としても関わって行っているのか問う。

A 状況により市に相談があれば、助言を行う。また、年に1度は事業所に指導に入り、ケアプラン作成に關しての助言を行っている。

●大竹市が設置する児童館の指定管理者の指定について

Q 阿多田児童館児童と市内の保育所、幼稚園、小学校との情報交換について問う。

A なかま保育所、立戸保育所と交流を実施し、小学校とも連絡をしっかりと行っている状況である。



●大竹市養護老人ホームゆうあいの里の指定管理者の指定について

Q 昼夜の入所者の健康状況等を把握するための管理体制について問う。

A 医師は常駐しておらず、委嘱医師が週に一回巡回診察を行っている。

いる。夜間は看護師不在の時もあるが、必要に応じて隣接のゆうあいの里からの応援が可能である。

●大竹市総合福祉センター設置及び管理条例の一部改正について

解説
大竹市総合福祉センター利用機会の拡大や、利用者負担の軽減を図る観点から利用料金の額を改正するもの。

Q 総合福祉センターを公民館と同じような使い方をしている方が多い。公民館は市内と市外に区別をしているが、総合福祉センターで区別しなかった理由を問う。

また、利用しやすくなるが、減収となるのではないかとと思われるが考えを問う。

A 団体利用の中に市民がおられる方が多い。公民館は市内と市外に区別をしているが、総合福祉センターで区別しなかった理由は、市民の利用は少ない状況であり、厳密に市内、市外を分けることは困難である。

また、減収にはなるが、今回の見直しで利用しやすくなる。しっかりと使っていただき、今後の状況を確認していきたいと考える。

●大竹市公園条例の一部改正について

解説
《原 案》

晴海臨海公園の球技場、管理棟等の共用開始に伴い有料公園施設の使用料の設定、改定をするもの。

○テニスコート使用料（1時間）

市内在住者 210 円 高校生以下 240 円
市外在住者 310 円 一般 490 円

○その他テニス場の照明や放送設備使用料、球技場等の使用料を新たに追加

Q テニスコートの利用料金が210円から490円と値上げ幅が多く不満の声も聞くが、関係団体との話し合いについて問う。

A 「管理棟やトイレの周辺設備が新たに整う」大竹市のルールである公の施設の使用料金の在り方による算定額以内である「近隣同等のテニスコート料金である」などの理由から適切な額と考える。テニス協会に説明はしているが、料金設定についての意見を聞くことはしていない。

議員提案により

修正案の提出

解説
《修正案》

○テニスコートの使用料（市民）

490 円 ↓ 320 円

○グラウンド使用料

（1時間・一般・市民）

1,080 円 ↓ 720 円

等、使用料を修正するもの。

修正案の提案理由要旨

利便性が高まったことや、近隣との比較において執行部提案は「良」であるが、テニスコートの値上げ幅が大きく市民の理解を得るのは困難である。

使用料の激変緩和をするため、また整備された公園を多くの市民に使用してもらうため、2年間の期限を設けた。市民利用に配慮した料金の修正を提案する。

※採決の結果、修正可決

●その他の議案3件

※採決の結果、修正可決以外のすべての議案は原案のとおり可決



本会議での採決の結果

公園条例は修正可決

その他は原案のとおり可決

第6回市議会（定例会） 議案の審議結果表（主な議案）

	議 案 な ど	寺岡公章	和田芳弘	大井 涉	網谷芳孝	藤井 馨	乃美晴一	児玉朋也	北 林 隆	山崎 年一	細川雅子	上野克己	原 田 博	二階堂博	田中実穂	西川健三	山本孝三	審議結果
認第4号	平成25年度大竹市一般会計決算	—	○	●	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	棄権	認 定
認第5号	平成25年度大竹市国民健康保険特別会計決算	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄権	認 定
認第9号	平成25年度大竹市土地造成特別会計決算	—	○	●	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	棄権	認 定
議案第63号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第64号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	—	○	●	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	原案可決
議案第65号	特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	原案可決
議案第74号	平成26年度大竹市一般会計補正予算（第4号）	—	○	●	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。 —：議長 ○：賛成 ●：賛成でない



山本 孝三

- 教育行政について
- 介護保険事業について

細川 雅子

- 「元気いっぱい夢いっぱい」の玖波小学校新校舎にしてください
- 公共施設等の相互的な管理による老朽化対策等の推進について
- 「市民と共にまちづくり」どのように進めますか？

原田 博

- 更なる健康づくり、健康増進に向けた施設の在り方について

和田 芳弘

- 空き家対策について

乃美 晴一

- 空き家対策の今後について
- 市内街灯の管理について

質問者 山本 孝三

教育行政について

同じ目標に向かって努力します

問 放課後児童健全育成事業が小学校六年生までを対象に実施されます。実施に向けた取り組みを伺います。

地方教育行政に関し、法「改正」されました。教育の中立性・自主性はどのように担保されますか。

答 今後高学年の児童クラブの需要調査をする予定です。選考方法や受け入れ時期を検討し、現状や緊急度に応じて、要望に少しずつでも応えられるよう、努めてまいります。

法改正後も教育委員会は市長との連携を更に深め、執行機関としての自覚と責任を一層強くし、教育の中立性・自主性・独立性を確保したい。

介護保険事業について

改正趣旨を踏まえ

3月までに事業計画を立てます

問 新年度より、この事業が大きく変わろうとしております。要支援1と2の保険外し、介

護認定の窓口での排除、特別養護老人ホーム入所が介護度3以上に制限されるなど、疑問、心配が絶えません。
実施時期をずらし、事業計画を安心できるものにすべきと思います。
今後の対応を伺います。

答 介護予防サービスのうち、訪問介護及び通所介護がいわゆる総合事業に移行しますが、大竹市老人福祉専門委員会の意見を踏まえ、第6期介護保険事業計画には総合事業の事業開始を平成29年4月とすることを考えています。



質問者 細川 雅子

「元氣いっぱい夢いっぱい」の
玖波小学校新校舎建設に
あたったの思いは？

すばらしい学校に
していきたいと思います

問 玖波小学校新校舎の基本計画案が示されました。玖波小学校の教育目標を施設面からも後押ししていただきたいと思います。基本計画案に関連していくつかお尋ねします。

①施設分離型の小中一貫教育を進めるための工夫はありますか。
②放課後児童クラブが校舎内にありますが安全面での配慮や、家庭的な雰囲気を提供する環境を整えていただけますか。
③玄関周りに広々としたオープンスペースは工夫できませんか。
④地域や保護者の皆様からのご意見に添えていただけますか。

答 ①2階に設置する普通教室の2倍程度の広さの部屋を活用し小中学生の交流を図ります。小中一貫教育は、9年間を見通した系統的な教育活動を行うことが大切です。

②安全面では、門のそばに職員室を配置するとともに裏側に監視カメラの設置を検討します。また、一体化したコンパクトな校舎のため、学校施設の活用や地域と触れ合う機会の増加により、快適で充実した放課後を過ごせると考えています。

③工期への影響から、建物の位置や構造などの変更は難しいと考えます。

④アンケートや意見交換会での意見を全て反映することはできませんが、可能なものについては応えていきたいと思っています。



玖波小シンボルツリー
「夢と元氣の木」

その他の質問

●公共施設の老朽化対策の推進について

●市民と共にまちづくりについて

質問者 原田 博

健康づくり、増進に向けた
施設の在り方を考えましょう

施設を有効に
活用する方向を考えています

問 市民の健康、安心の確保は、行政の運営上、極めて大きな課題です。

特に、高齢化に伴う医療費の高騰は、財政上からも問題であり、高齢者、若年者、現役世代を問わず、生活者、市民の健康増進、維持は、本市が継続して、取り組むべき最優先目標です。

そのために、受診しやすい環境の向上策として、国民健康保険の特定健康診査や大腸がん検診の自己負担額の無料化や市民の健康意識の啓発活動など医療機関と連携しながら増進を図っています。それらを更に後押し、事業が効果的・効率的体制・整備・機能が必要です。

限られた資産、今ある資源を活用した健康づくり、増進に向けた施設の在り方を問います。

答 健康づくり・健康増進の取り組みでは、大竹市医師会と検討をしてきた結果、普及啓発としての尿検査紙の配布や血糖測定会を実施

しています。また今年度は、受診券を事前に配布することで、市に受診券交付の申請をせずに医療機関で受診できるよう工夫し、自己負担額の無料化を受けて、医師会の先生方には病院での受診勧奨をより積極的に行っていただいています。健康意識の向上では、健康増進キャラクター「ゾウのしんちゃん」を活用するなど、わかりやすい普及啓発にも取り組んでいます。施設の在り方については、本市の規模では単独の保健センターを設置することは困難であり、他の目的を持つ施設を有効に活用する方向を考えています。限りある資源でいかに効果的・効果的にできるかを考えていきたいと思っています。

平成 26 年度集団検診会場（旧小方中学校体育館）



質問者 和田 芳弘

市街地にある老朽空き家

対策についてお聞きします

調査を行い、

対策に向け検討していきます

問 我が国で空き家が増加する要因の1つに核家族化があります。実家を相続しても他に住んでいるとか県外に住んでいるとか色々ありますが、我が大竹市において、市街地にある老朽化した空き家が20棟近くあると聞いています。台風や自然災害により倒壊するおそれや、その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切であるなど、個人の財産とはいえ放っておくわけにはいかないと思っています。

本市において老朽空き家に対する市条例や、空き家等対策計画を早急に進めてほしいと思います。どのような対策を考えているかお聞かせください。

答 空き家対策は重要な課題の一つと認識しており、昨年度は自治会連合会に御協力をいただき、アパート、マンション等を除く約1万戸を調査しました。その結果、空き家が438戸、このうち71戸につ

いて倒壊の危険性があると報告を受けています。今年度は、市職員がこの71戸の空き家の現地調査を行い、危険度の判定作業を行っているところ です。

本市においては、現在進めている空き家調査と、法律に定められた空き家等対策計画の策定に向けた検討を進めてまいります。



市内の空き家

質問者 乃美 晴一

空家の有効利用を考えましょう

課題を分析した上で

検討しようと思います

問 本年11月「空家対策特別措置法」が国会で成立しました。市内でも増え続けている空家の対策には有効であると理解しています。しかし、この法律では空家の有効利用への道はまだ遠く、市内に優良な賃貸戸建物件も多くありません。本市の定住促進の観点から有効活用を出来る方法が無いか伺います。

答 市内企業で働く方々が本市に生活の拠点を構えていただくという視点での空家の利活用について、課題などを分析した上で、本市にどのような支援制度ができるかを検討していこうと考えます。

自治会街灯の

偏在が起きています

自治会の負担を軽減する策の
必要性を感じています

問 市内街灯は市が管理するものとそれ以外に分かれますが、

自治会が所有する街灯が特定地区に数多く存在するなどの現象が起きています。過去の経緯があつてだと思いますが、見直しに対する考えを伺います。

答 市では防犯灯設置補助金交付要綱を定め、昭和61年度から街灯設置の補助を行ってきましたが、平成25年度からLED灯の補助限度額の引き上げなどの見直しをしています。自治会管理街灯の維持管理並びに更新のあり方など、柔軟な対応が図れるよう、さらなる見直しを含め改善に努めたいと思います。



陳情・請願・意見書

【まちづくり対策特別委員会付託】

●小方小学校移転跡地に「公園」設置陳情

「継続審査」

【議会運営委員会付託】

●大竹市議会議員定数の削減を求める陳情について

大竹市晴海二丁目3番1号

相馬広章 氏

「継続審査」

【生活環境委員会付託】

●ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書採択について

全国B型肝炎訴訟広島原告団

副代表 大山美紀子 氏

「採択」

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書（抜粋）

1. ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること
2. 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準につき見直しを行い、患者の今日的状況に応じた認定制度にすること

提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣

スマイルインタビュー 掲載団体(個人) 募集！

大竹市議会だよりの最終ページ（今月号では16ページ）に掲載する団体・個人を募集します。

文化・伝統に関する団体・個人
（利益を追求した団体・個人ではないこと）
が条件となります。

次号は平成27年5月号です。自薦、他薦を問いません。
詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ先

大竹市議会事務局
☎59-2183



議会を傍聴しませんか？

市議会では予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。
本会議、委員会とも傍聴できますので、議会がどのように運営されているか傍聴してみませんか。

3月議会日程（予定）

本会議	3月2日（月）
（予備日）	3月9日（月）
常任委員会	3月11日（水）
（予備日）	3月2日（月）
特別委員会	3月4日（水）
（予備日）	3月5日（木）
本会議	3月6日（金）
（予備日）	3月26日（木）

予算特別委員会（予定）

3月13日（金）～3月17日（火）
3月18日（水）予備日



先進地事例調査研究

総務文教委員会

委員長 北林 隆

平成26年11月5日～7日

埼玉県鶴ヶ島市

◆「鶴ヶ島プロジェクト」について

公共施設のダウンサイジング（縮小）に市と大学の連携事業で、住民や関係者にヒアリングを行い、財政状況や少子高齢、人口減に対応した施設の集約化策に取り組み。官・学・民によるプロジェクトである。縮尺模型で仮想プランを立て、ワークショップ形式の公開講評会等を実施し、将来像をまとめる。「公共施設の設計に市民が主体的に向かい合うようになった」当事者意識を促す市民参画型の取り組みであった。

◆「公共施設等利用計画」について

案として、学校教育、健康保健、福祉、市営住宅、庁舎など施設総量の見直しを進める。1つのエリアに小学校と地域利用施設（公民館機能、児童館機能、健康づくりのための機能）がある地域コミュニティの形成をイメージし、事

後保全から予防保全へと転換、建設費や維持経費の削減を図る。総量抑制を図りながら、利用者満足から市民満足の向上のため多くの市民の意見を反映する手法である。

千葉県習志野市

◆「公共施設再生計画・公共施設再生基本条例」について

公共施設の建て替え、改修、統廃合などの計画的な取り組みについて、基本理念や基本的事項を定め、施設更新のための、建て替え・改修にかかる費用と確保できる事業費を試算。延床面積の削減、事業費の圧縮、事後保全から予防保全へ転換し長寿命化を図る。ライフサイクルコスト低減へつながる計画となっていた。

更に、議会では市議会調査特別委員会が設置されていたが、本市においても参考となる取り組みであった。

埼玉県熊谷市

◆「防災のまちづくり事業」について

「災害時におけるタクシー無線の利用による情報通信に関する協定」を調査した。

生活環境委員会

委員長 乃美 晴一

平成26年11月18日～20日

栃木県宇都宮市

◆「身近な再生可能エネルギーの活用術」について

本市の持つ水エネルギー利用の可能性を検討する為、工業用水道で小水力発電を検討した宇都宮市で実際の検討内容を学習しました。工業用水を利用する企業向けに自家エネルギーの確保を推奨しており、受水前、排水前における発電機の設置コスト、売電利益を業種ごとに検討していました。本市においても、余剰な工業用水を抱えることから検討の必要性を考えさせられました。

東京都港区

◆「芝の地域力再発見事業」について

この地区のコミュニティが崩壊したことから慶応義塾大学と協定を締結し、地域交流の起点となる「芝の家」を運営していました。本市もコミサロ等を運営していますが、子どもから会社員、高齢者までが集う運営方法を学習しました。芝の家では民家を借上げ、実際の利用に制限はなく利用者がや

りたいことをやる中で、仲間を見つけてクラブ活動みたいなことを実施し、更に活動の輪を広げていくサイクルが機能していました。



芝の家

神奈川県川崎市

◆「生活保護・自立支援対策の取り組み」について

川崎の特徴は自立を必要としている人を対象に民間企業と協力して、教育訓練、人材派遣をしている点にありました。更にはその人に合った仕事を民間企業と連携して創造していくこともされています。更には支援を必要とする人を生まないために学習支援にも力点を置いていました。本市で直ぐに取り組む事が難しい事業もありましたが、今後の保護行政に対するヒントが数多くありました。

議会報告会のご案内

大竹市議会では、議員が地域にお伺いして議会活動を直接報告し、市民の皆さまとの意見交換を行う議会報告会を開催いたします。

以下の日程で行いますのでご都合のよい会場へお越しください。多くの皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

大竹市議会議長 寺岡 公 章

1. 開催日程と会場

日 程	時 間	会 場	担当班
2月3日(火)	19:00~20:30	木野集会所(木野1丁目)	A 班
		小方公民館(2階第2研修室)	B 班
		エスポワールおおたけ(大竹会館 2階中集会室)	C 班
2月5日(木)	19:00~20:30	玖波公民館(2階研修室)	A 班
		総合市民会館(2階第1研修室)	B 班
		サントピア大竹(2階会議室)	C 班
2月7日(土)	18:30~20:00	阿多田島漁協(3階大集会室)	A 班
	14:00~15:30	松ヶ原集会所	B 班
		農林振興センター(2階大集会室)	C 班

議長(寺岡公章)は、特定の班に所属せず、各日ともいずれかの会場に参加します。

議員が3班に分かれ、各地域にお伺いいたします。

A 班		B 班		C 班	
班 長	乃 美 晴 一	班 長	児 玉 朋 也	班 長	北 林 隆
副班長	大 井 渉	副班長	山 崎 年 一	副班長	田 中 実 穂
	細 川 雅 子		和 田 芳 弘		網 谷 芳 孝
	上 野 克 己		藤 井 馨		西 川 健 三
	原 田 博		二階堂 博		山 本 孝 三

2. 議会報告会の内容(予定)

- 平成25年度決算議案 審議報告(抜粋)
- 平成26年12月定例会議案 審議報告(抜粋)
- 意見交換会

3. 問い合わせ先

大竹市議会事務局
TEL (0827) 59-2183





第7回
スマイル
インタビュー



「大竹山の会」について教えてください。

平成8年の広島国体の山岳競技が大竹で開催されるのに合わせて平成5年に結成されました。21年目になります。現在、会員は男女合わせて71名、40代から80代の方がいます。

どんな活動をしているのですか？

安心・安全・健康をモットーに活動しています。年20回程度、貸切バスで登山に行きます。また登山者のために市内の山の整備をしています。

登山の魅力は？

普段の生活を離れ、下界のことを全部忘れて別世界に入れることです。みんなで話しながら、楽しく登っています。また、きれいな花など高山植物との出会いも魅力の一つです。

9月に山の会が作成された「大竹ハイキング登山ルートマップ」が好評と聞きしています。マップについて教えてください。

大竹市民が意外と大竹の山に登っていないので、大鉢山など大竹の山をもっと知っていただきたくて、市の助成金を使っ



て作成しました。

最後に一言
お願いします。

三倉岳は、

とても絵になるすばらしい山です。

また、大竹には海を見ながら登れる

山が近場に沢山あります。ロケーションを楽しみながら、ぜひ登ってみてください。

私たちも皆さんが気持ちよく安全に登山できるように、これからも道の整備など山の管理・維持をしていきたいと思っています。



第349回 大竹山の会登山
古鷹山にて (2014.12.7)



田室 浩一郎 会長

あとがき

解散から投票日まで20日あまりの、第47回衆議院選挙が昨年12月審判を終えました。

選挙期間中、期日前投票が大幅に増えたことが報じられ、投票率のアップが見込まれましたが、結果は、52.66%と戦後最低を記録しました。前回の59.32%を6.66ポイント下回りました。

選挙結果もさることながら、ここでは有権者の選挙権行使・投票について考えてみます。

半数の人が投票をしなかった今回の選挙ですが、いずれ50%を切ることは時間の問題です。選挙を通じて代議制民主主義の信頼性が問われます。今後とも投票率を向上させるための常時啓発と、住民の選挙に対する意識の向上に努める必要があります。

「投票に際して有権者は、投票した人が良い仕事をしているか、否かあまり関心がない」と指摘されています。

しかし、ここが一番大切なところですが、果たしてどれほどの有権者が「目当て」としているのでしょうか。本年は、皆さんにとって一番身近な地方自治体の、県議会議員選挙・市議会議員選挙が実施されます。地方自治とは「地域のことは、地域に住む住民が責任をもって決める。」ことです。地方自治は地方でこそ実現できます。

投票は、「国や県のあり方と地方の住民の生活」をきめる大切な行為です。いざ投票へ!!

広報広聴特別委員

委員長
副委員長

乃美 晴一
網谷 芳孝
藤井 馨
児玉 朋也
北林 隆一
山崎 雅子
細川 雅子